

2006年10月23日

TOYOTA、新型車「オーリス」を発売 —日欧戦略車として、欧州に先駆け日本で発売—

TOYOTAは、日欧戦略車として開発した新型車オーリス“AURIS*1”を、欧州に先駆け日本で、全国のネット店を通じて、10月23日より発売した。

オーリスは、「直感性能」を開発テーマに、見た瞬間、乗った瞬間、そして走り出した瞬間に、オーリスの魅力のすべてが実感できる際立つ個性と、優れた走行性能を備え、これまでのコンパクトカーの概念を超えることを目指した。

具体的には、「5mインプレッション」をキーワードに、キーを手にした時から感じるクルマへの期待感、見ただけで乗る人を魅了する欧州でデザインしたエクステリア、センタークラスターからセンターコンソールまで一体化した斬新なインテリアによる、乗り込んだ時に感じる先進性と上質感、エンジンをかけて、走り始めた時に感じる運転する喜びを追求した。

さらに、新開発プラットフォーム、新型1.8ℓエンジン、新設計サスペンションにより、優れた走行性能を実現し、ドライビングプレジャーを高めるとともに、取り回しの良さとミディアムクラスに匹敵する広く使いやすい室内空間を両立している。加えて、クラス*2トップレベルの安全・環境性能を兼ね備えている。

なお、“AURIS”を日欧統一の車名とし、2007年春より、欧州での販売を開始する。

【主な特長】

1. 欧州でデザインした存在感のあるエクステリアと、斬新で機能性の高いインテリア

- ・エクステリアは、欧州デザイン拠点であるED²*3が手掛け、トヨタ車のデザインフィロソフィー「VIBRANT CLARITY(生き生き・明快)」に基づき、遠くからでも一目で分かる独自の存在感を創出
- ・インテリアは乗り込んだ瞬間に感じる先進性と上質感、走りの予感を演出するとともに、操作系を運転席手元に集中配置し、機能性も高め、運転が楽しくなるデザインを追求

2. 欧州で鍛え上げた優れた走行性能と、快適な乗り心地

- ・新開発プラットフォーム、新型1.8ℓエンジン、高剛性ボディ、新設計サスペンションを採用し、欧州各地での走り込みを行い、安定感のあるハンドリングとフラットな乗り心地、軽快な走りを実現
- ・低燃費と滑らかな走りを実現するSuper CVT-i*4に、「fun to drive」を高める7速スポーツシケンシャルシフトマチックを採用し、爽快な走りを実現

3. 広く快適で使いやすい室内と取り回しの良さ

- ・新開発プラットフォームがもたらす優れたパッケージにより、後席の広くフラットな足元スペースをはじめ、ミディアムクラスに匹敵するゆとりある快適な室内を創出しつつ、取り回しの良さも両立
- ・簡単な操作で格納することができるリクライニング機構付6：4分割ワンモーションチルトダウン格納リヤシート、多彩な収納スペースにより、使いやすさと快適性を確保

4. クラストップレベルの安全・環境性能

- ・2トンクラスの車両との55km/hでの全方位カーツーカー衝突試験を行い、より厳しい衝突条件に対応したGOA*5を採用
- ・さらに、WIL*6コンセプトに基づき、追突された場合の首への衝撃を緩和するシート構造を前席に採用するなど、クラストップレベルの安全性能を追求
- ・全車で「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得、主な車種で「平成22年度燃費基準*7」の+10%、+20%を達成（グリーン税制による減税措置対象車）
- ・独自の環境評価システム「Eco-VAS*8」を活用し、CO₂排出量をはじめ、環境負荷を低減



オーリス 150X “M-package” (2WD)
＜オプション装着車＞

- *1 AURIS (オーリス) : 英語で「独特の雰囲気」の意味の“AURA”からの造語で、際立った存在感のクルマの意
- *2 同排気量クラスでの比較
- *3 ED² (EDスクエア) : Toyota Europe Design Development S.A.R.L
- *4 Super CVT-i : Super Continuously Variable Transmission-intelligent (自動無段変速機)
- *5 G O A : Global Outstanding Assessment (クラス世界トップレベルを追求している安全性評価)
- *6 W I L : Whiplash Injury Lessening (頸部傷害軽減)
- *7 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準
- *8 Eco-VAS (エコバス) : Eco-Vehicle Assessment System (トヨタ自動車独自の総合的環境評価システム)

【販売概要】

- 1. 販 売 店 : 全国のネット店
- 2. 月販目標台数 : 3,000台
- 3. 店頭発表会 : 10月28日(土)、29日(日)

【生産工場】

関東自動車工業(株) 岩手工場

【メーカー希望小売価格】

(北海道、沖縄のみ価格が異なる。単位：円)

	エンジン	駆 動	トランスミッション	価 格* (消費税込み)
150X	1NZ-FE (1.5ℓ)	2WD (FF)	Super CVT-i	1,622,250
“M-package”				1,711,500
“S-package”				1,858,500
150X		4WD		1,832,250
“M-package”				1,921,500
“S-package”				2,068,500
180G	2ZR-FE (1.8ℓ)	2WD (FF)		1,916,250
“S-package”				2,089,500
180G		4WD		2,126,250
“S-package”				2,299,500

◎ : 掲載写真 (除くオプション)

*価格にはリサイクル料金は含まれない

【車両概要】

1. 欧州でデザインした存在感のあるエクステリアと、斬新で機能性の高いインテリア

<エクステリア>

- ▽遠くからでも一目で分かるショート&ワイドで個性的なフォルム
- ▽フードからバンパーへと続く一体感のある力強い造形と、サイドまで回り込んだヘッドランプによりワイド感とスポーティ感を強調したフロントビュー
- ▽低い位置で前傾したベルトラインと傾斜させたクォーターピラーにより、走りの予感を演出するサイドビュー
- ▽ヒップアップしたシルエットにより、アクティブな印象のリヤビュー

<インテリア>

- ▽ヨーロッパの建築手法である“フライングバットレス*”をモチーフに、センタークラスタからセンターコンソールまで一体化した斬新なデザインを採用し、先進的なイメージを演出
 - *フライングバットレス：主となる建築物の外に張り出した梁を柱で支えて空間を造り上げるゴシック様式の建築手法
- ▽高い位置に配したシフトレバー、パーキングブレーキと、心地よい適度なタイト感を持たせたコクピットにより、スポーティ感を演出
- ▽コクピットの主要操作系を運転席手元に集中配置し、操作性・機能性を向上
- ▽重厚感のあるドアの閉まり音、オーディオなどスイッチ類の操作フィーリングの滑らかさなど、細部にまでこだわり、上質さを追求

2. 欧州で鍛え上げた優れた走行性能と、快適な乗り心地

- ▽優れた操縦性・走行安定性とフラットな乗り心地を両立する **新開発プラットフォーム、新設計サスペンション**
 - ・サスペンションは、欧州各国の道路やサーキットコースなどで走り込みを行い、最適にチューニングし、高速ワインディング路やハイウェイなど様々な使用条件下において卓越した走行性能を実現
- ▽ステアリングの応答性と、静粛性を両立する **高剛性ボディ**
- ▽優れた加速性能と低燃費・環境性能を両立する1.8ℓ Dual VVT-i*エンジン、高性能と低燃費を両立する1.5ℓ VVT-iエンジン
 - *VVT-i：Variable Valve Timing-intelligent（連続可変バルブタイミング機構）
- ▽低燃費と爽快な走りを実現する **Super CVT-i**
 - ・高い操作性、マニュアル感覚の操作が楽しめる7速スポーツシーケンシャルシフトマチック（1.8ℓ車）
- ▽優れた制動力の確保はもとより、コントロール性の良いブレーキフィーリングを実現する4輪ディスクブレーキ（全車）

3. 広く快適で使いやすい室内と取り回しの良さ

- ▽新開発プラットフォームがもたらす優れたパッケージにより、後席の広くフラットな足元スペース（2WD車）をはじめ、ミディアムクラスに匹敵するゆとりある快適な室内と広い荷室スペースを創出しつつ、取り回しの良さも両立
- ▽簡単な操作で格納でき、フラットで広い室内スペースをつくり出す、リクライニング機構付6：4分割ワンモーションチルトダウン格納リヤシート
- ▽携帯したキーを取り出すことなく、ドアの施錠・解錠ができ、ワンプッシュでエンジンがスタートする スマートエントリー&スタートシステム
- ▽エアコン吹き出し口をセンタークラスタ上部にも設定し、室内全体の快適な空調性能を実現するとともに、顔まわりの花粉を素早く減少させることができる 花粉除去モード付きオートエアコン

4. クラストップレベルの安全・環境性能

▽より進化した衝突安全ボディGOA

- ・55km/hの全方位カーツーカー衝突試験を実施。衝突時の衝撃を骨格部材に効果的に荷重分散し、吸収するボディ構造を採用し、生存空間やダミーの傷害値においてトヨタ自動車独自の目標をクリア

▽頭部傷害軽減においてクラストップレベルの保護性能を追求し、歩行者傷害軽減に配慮したボディ構造

▽WILコンセプトに基づくシート構造

- ・THUMS*を用いた解析により、シート骨格の強度を高めるとともに、さらにシートバックへ沈みやすくすることによって、追突された場合の首への衝撃を緩和

*THUMS（サムス）：Total Human Model for Safety

▽全車で国土交通省の低排出ガス車認定制度における「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を取得するとともに、180G“S-package”は「平成22年度燃費基準+20%」、1.5ℓ全車・1.8ℓ4WD車は「平成22年度燃費基準+10%」を達成(グリーン税制による減税措置対象車)

▽「Eco-VAS」を活用し、効率的に環境負荷を低減

- ・開発初期段階から環境目標を設定し、環境影響をバランスよく減少
- ・LCA（ライフサイクルアセスメント）を実施し、走行段階だけでなく、生産から廃棄するまでの全段階で排出するCO₂や大気汚染物質の総量を低減

▽内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、揮発性有機化合物（VOC*）の発生量を抑制し、車室内の臭いや刺激臭を軽減

*VOC：Volatile Organic Compounds

▽エコドライブインジケーター

- ・燃費効率の良い走行状態の場合に点灯することで、ドライバーに対しエコドライブへの意識啓発を図り、燃費向上に寄与

以 上